

東部丘陵生態系ネットワーク協議会

2010（平成22）年に愛知・名古屋で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」を契機として、県内9地域で多様な主体の共同によって生物多様性保全に取り組む「生態系ネットワーク協議会」が設立されました。このうち、名古屋市の東部に広がる東部丘陵地帯では、この地域にある23大学が中心となって、企業や自治体と協力し「東部丘陵生態系ネットワーク協議会」を設立して、生物多様性保全の取組を行っています。

活動のテーマ「23大学が先導する、ギフチョウやトンボの舞うまちづくり」

オープン講座		日時	会場	講師	定員※	申込締切
	第1回	10月4日(日) 10時～12時	瀬戸市やすらぎ会館 および瀬戸川	愛知工業大学 工学部 教授 内田 臣一	30名	9月25日 (金)
	第2回	10月25日(日) 13時30分～16時	愛知県立芸術大学	愛知県立芸術大学 美術学部 准教授 夏目 知道 名古屋工業大学 工学部 教授 増田 理子 長久手湿地保全の会	30名	10月16日 (金)
	第3回	11月28日(土) 10時30分～15時30分	植田川周辺および 名城大学天白キャンパス	名城大学 農学部 准教授 橋本 啓史 名城大学 農学部 助教 大崎 晴菜 京都大学 生態学研究センター 教授 山尾 僚 茨城大学 大学院理工学研究科 助教 松本 哲也	15名	11月20日 (金)
	第4回	12月19日(土) 10時～12時	椋山女学園大学 附属小学校山添キャンパス	椋山女学園大学 教育学部 准教授 野崎 健太郎	30名	12月11日 (金)

※第1回～第3回は申込み先着順、第4回は子ども優先となります。

問い合わせ先

東部丘陵生態系ネットワーク協議会（愛知県環境局環境政策部自然環境課内）
〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2
電話：052-954-6475 Eメール：tobukyuryo@gmail.com

令和8年度あいち自然再生カレッジにご参加を希望される方は、下記の申込フォームからお申込みください。

★お申込みはこちら★

<https://forms.gle/mPhD1owJ3ZPzDzGX6>



令和8年度

あいち 自然再生 カレッジ

生物多様性を育む様々な自然環境をフィールドに、里山との関わりや河川・湿地の生き物などについて学ぶ「あいち自然再生カレッジ」を開講します。

テーマ

「自然との調和」

講座日程

令和 8年 10月 4日(日)
10月25日(日)
11月28日(土)
12月19日(土)

※いずれかの講座1回からご参加いただけます

主催：東部丘陵生態系ネットワーク協議会

本事業は、『あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金』の助成を受けて実施しています。



開催の趣旨

東部丘陵生態系ネットワーク協議会による『あいち自然再生カレッジ』は、2011（平成23）年度から始まり、今年度で16年目を迎えました。座学から始まったこのカレッジは、2017（平成29）年度からフィールドワークも加わり、自然環境やそこに生きる生物に触れる体験などを通して、理解がより深まる内容になりました。

今年度は、『自然との調和』をテーマに4回の講座を用意しました。東部丘陵地域は里山やため池、湿地、河川などの様々な自然環境が残る場であると同時に、多くの人が暮らす生活の場でもあり、自然と調和した環境を守ったり、創出したりするにはどうしたらよいかを考えていきたいと思います。

愛知県では2021年2月に『あいち生物多様性戦略2030』を策定し、人と自然の共生に向けて『生物多様性の主流化』を目標に掲げています。この目標は、あらゆる立場の人々が最大限に行動をとることにより、あいちの生物多様性を回復基調に転ずることに貢献していくものです。今回の講座を通して、生き物の重要性を学び『人と自然が共生』できる社会を目指す機運が、より広まることを期待しています。

令和8年8月
東部丘陵生態系ネットワーク協議会 会長 吉田 耕治

あいち自然再生カレッジメンバー

学 長	東部丘陵生態系ネットワーク協議会	会 長	吉田 耕治	（金城学院大学 准教授）
副学長	東部丘陵生態系ネットワーク協議会	副会長	増田 理子	（名古屋工業大学 教授）
副学長	東部丘陵生態系ネットワーク協議会	副会長	野崎 健太郎	（相山女学園大学 准教授）

第1回講座

野外活動

瀬戸川の生き物と触れ合おう!!

講師 ▶ 愛知工業大学 工学部
教授 内田 臣一

日時 ▶ 令和8年10月4日(日)10時～12時
(小雨決行としますが、荒天時や増水時は中止します)

会場 ▶ 瀬戸市やすらぎ会館および瀬戸川

定員 ▶ 30名(申込み先着順)
※小学校低学年は保護者同伴

申込締切 ▶ 令和8年9月25日(金)

～ きれいになった瀬戸川の生き物 ～

瀬戸市の中心を流れる瀬戸川の流域は、古くから陶磁器(せともの)づくりが盛んな地域です。一度は工場や家庭からの排水で川が汚れてしまいましたが、下水道の整備や川をきれいにする取り組みのおかげで、水質は大きく改善されています。では、きれいになった瀬戸川には、どのような生き物がすんでいるのでしょうか。実際に川に入り、生き物をつかまえて観察してみましょう。

【服装・持ち物】当日は川に入り(保護者の方も)、生き物を採集します。服装は半袖・半ズボンがおすすめです(気温が高かったら水着も可)。足元はマリンシューズなど水の中で脱げにくい靴、またはかかとを固定できるサンダルをご用意ください。タモ網やバケツをお持ちの方はご持参ください。



受付時間・集合場所

受付時間 ▶ 9時30分～
集合場所 ▶ 瀬戸市やすらぎ会館5階
大集会室(瀬戸市川端町1丁目31)

アクセス

アクセス ▶ 【電車】名鉄瀬戸線「水野」駅、「新瀬戸」駅または愛知環状鉄道「新瀬戸」駅より徒歩10分
【車】やすらぎ会館の駐車場をご利用ください

第2回講座

野外活動

自然と調和した キャンパスを体験しよう!!

講師 ▶ 愛知県立芸術大学 美術学部
准教授 夏目 知道
名古屋工業大学 工学部
教授 増田 理子
長久手湿地保全の会

日時 ▶ 令和8年10月25日(日)13時30分～16時
(雨天中止)

会場 ▶ 愛知県立芸術大学

定員 ▶ 30名(申込み先着順) ※小学校低学年は保護者同伴
申込締切 ▶ 令和8年10月16日(金)

～ 東海地方固有の里山や湿地の保全 ～

県立芸術大学のキャンパスには里山や湿地など多様な自然環境が残り、この地方の丘陵地特有の豊かな生態系を育んでいます。しかし、里山や湿地は人の手を入れて維持しなければ、これらの生態系は失われてしまいます。この講座では、里山や湿地の保全を体験するとともに、キャンパス内の古い建物の見学を通じて、自然と共生した暮らしに思いを巡らせてみましょう。



受付時間・集合場所

受付時間 ▶ 13時～
集合場所 ▶ 愛知県立芸術大学
講義棟1階ピロティ(長久手市岩作
三ヶ峯1丁目114)

アクセス

アクセス ▶
【電車】リニモ「芸大通」駅より徒歩
10分
【車】管理棟周辺の駐車場をご利用
ください

あいち 自然再生カレッジ

第3回講座

野外活動

生物・人・自然の 調和を考える

講師 ▶ 【野外活動】名城大学 農学部 准教授 橋本 啓史
【公開講座】名城大学 農学部 助教 大崎 晴菜
京都大学 生態学研究センター 教授 山尾 僚
茨城大学 大学院理工学研究科 助教 松本 哲也

日時 ▶ 令和8年11月28日(土) 10時30分～15時30分
※午前は野外活動に参加いただき、午後(13時から)は名城大学
農学部生物環境科学科主催の公開講座を聴講いただきます。
昼食は各自持参されるか、学内外の飲食店をご利用ください。
(午前の野外活動は小雨決行・荒天時中止、午後の公開講座は雨天決行)

会場 ▶ 植田川周辺および名城大学天白キャンパス(共通講義棟南S-101)

定員 ▶ 15名(申込み先着順) ※高校生以上を対象とします(定員に達した場合でも、午後の公開講座のみの参加でよろしければ、
別途、名城大学のウェブサイトからお申し込みいただけます)

申込締切 ▶ 令和8年11月20日(金)

～ 身近な自然から読み解く生態系の仕組み ～

日本に生育する野生の動植物が、環境や他の生物、人との関わりの中でどのように振る舞い、進化してきたのかを基礎生態学の視点から紐解いていきます。普段何気なく目にする身近な自然に、生態系を形づくる興味深いシステムが存在することを最新の知見を交えて紹介します。午前中は、午後の講座で登場する身近な動植物などを、大学キャンパス内や周辺の公園、植田川沿いなどで探します。



受付時間・集合場所

受付時間 ▶ 10時00分～
集合場所 ▶ 名城大学天白キャンパス 東門下
研究実験棟Ⅲ前(名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地)

アクセス

アクセス ▶ 【電車】名古屋市営地下鉄鶴舞線
「塩釜口」駅より徒歩8分
【車】学外のコインパーキングをご利用ください。
東門周辺に複数あり。

第4回講座

野外活動

湧水から生まれた 学校ビオトープの 自然を学ぼう!!

講師 ▶ 相山女学園大学 教育学部
准教授 野崎 健太郎
共催：日本陸水学会東海支部会

日時 ▶ 令和8年12月19日(土) 10時～12時
(小雨決行としますが、荒天時は中止します)

会場 ▶ 相山女学園大学附属小学校山添キャンパス

定員 ▶ 30名(超過時は子ども優先) ※小学校低学年は保護者同伴
申込締切 ▶ 令和8年12月11日(金)

～ 都市にある川のはじまり ～

名古屋市内を流れ名古屋港に注ぐ山崎川、その源流はどこにあるのか、考えたことはありますか?この講座では、小学校のグラウンドの一角にある湧き水を舞台に、地下水はどのようにして地上に湧き出ているのか、湧き水の水質はどのようなものか、湧き水を活用したビオトープにはどのような生き物が棲んでいるのかを、実験や観察を通して学びます。



受付時間・集合場所

受付時間 ▶ 9時30分～
集合場所 ▶ 相山女学園大学附属小学校
理科室(名古屋市千種区山添町2丁目2番地)

アクセス

アクセス ▶ 地下鉄東山線「覚王山」駅
4番出口より徒歩5分
※駐車場がないため、公共交通機
関でお越しください

留意事項

- ①本講座は、小学生以上を対象とします。(幼児の同伴は事前にご相談ください。)なお、第3回のみ高校生以上を対象とします。
- ②定員に達し次第、申込を締め切ります。第4回を除き、申込ができた時点で受講決定となります。持ち物等の詳細は、各講座の約1週間前にメールでお知らせします。
- ③希望する講座を、自由に組み合わせて複数お申込みすることも可能です。
- ④野外活動には、動きやすく安全な服装(長袖・長ズボン・帽子・運動靴(サンダル不可))、タオル、飲み物、必要に応じ虫よけを持参して参加してください。ハチ対策のため黒っぽい服や帽子は避けてください。
- ⑤雨天等による中止の場合は、前日又は当日朝に、申込時に記入いただいたメールアドレスへお知らせします。
- ⑥講師や内容は変更する可能性があります。変更する場合は事前にお知らせします。